

2019年3月期 決算説明会 補足資料

中期経営計画(2023/3期最終年度)の達成に向けた
2つのセグメントについての説明

1) 2つのセグメント実績と予想

1-5

2019年5月11日



SUN FRONTIER

証券コード: 8934

1) 2つのセグメント実績と予想

- **リプランニング事業**
- **オペレーション事業**

2つのセグメントについての成長余力

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	増減率
売上高	53,291	70,000	+31.4%
(1)不動産再生事業	45,490	52,340	+15.1%
うちRP事業(ホテル開発含む)	42,507	48,559	+14.2%
うち賃貸ビル事業	2,982	3,781	+26.8%
(2)不動産サービス事業	3,179	3,550	+11.6%
(3)オペレーション事業	3,898	6,710	+72.1%
(4)その他事業	1,508	8,479	+462.2%
調整額	▲784	▲1,080	—
売上総利益	19,192	21,450	+11.8%
(1)不動産再生事業	16,048	16,657	+3.8%
うちRP事業(ホテル開発含む)	14,712	15,058	+2.3%
うち賃貸ビル事業	1,336	1,599	+19.6%
(2)不動産サービス事業	1,898	2,233	+17.6%
(3)オペレーション事業	476	760	+59.8%
(4)その他事業	829	1,798	+116.8%
調整額	▲60	—	—
販売費及び一般管理費	5,886	6,950	+18.1%
営業利益	13,305	14,500	+9.1%
経常利益	12,813	14,000	+9.3%
当期純利益	8,783	9,500	+8.2%
一株当り配当金(円)	38.50	39.50	+2.6%

・オペレーション事業・その他事業等、**新規事業分野を拡充**させていく。

・ホテル運営事業、貸会議室事業は前期比売上23億円増加を見込む。

・RP粗利益率は、賃料横ばい、現状の市場環境を前提に設定。

18年3月期:31.9%

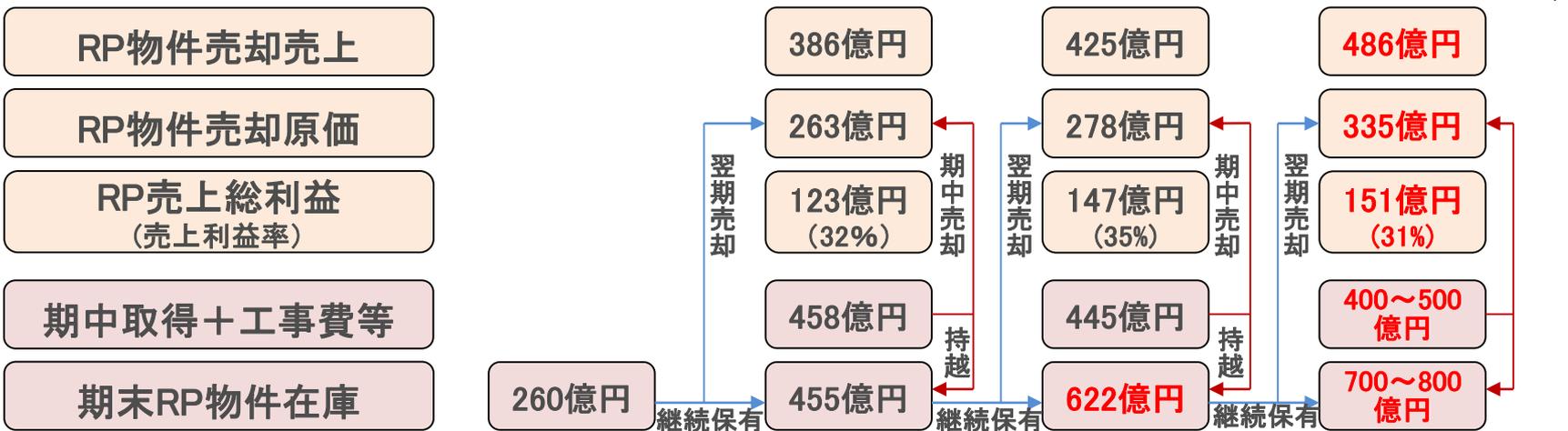
19年3月期:34.6%

⇒20年3月期:31.0%

・内、RP販売手数料 8.0億円を見込む
(19年3月期 5.8億円)

今2020年3月期のRP売上は、市況の不透明感が増大していることに加え、オペレーション事業およびベトナムの分譲マンション販売に伴う海外事業の伸長等の要因から、販売計画を保守的に設定。中期的な賃貸収入の増大を図るとともに、市場の変動にも備えた収益構造への変革を目指す。

2017年3月期 2018年3月期 2019年3月期 2020年3月期(予)



【期末RP在庫の潜在的含み益(※)】

売上利益率: 25%前提	87億円	152億円	207億円
売上利益率: 30%前提	111億円	195億円	266億円

(※) RP期末在庫を上記の売上利益率で売却できると仮定した場合の売却益

潜在的含み益 = 期末在庫 ÷ (1 - 売上利益率) - 期末在庫

(単位:百万円)	2018/3期 実績	2019/3期 実績	2020/3期 予想	増減
売上高	2,898	3,898	6,710	+72.1%
ホテル運営事業	2,178	2,981*	5,320	+78.4%
貸会議室事業	719	916	1,390	+51.7%
売上総利益	387	476	760	+59.7%
ホテル運営事業	201	323	570	+76.5%
貸会議室事業	185	153	190	+24.2%
売上総利益率	13.4%	12.2%	11.3%	—
ホテル運営事業	9.2%	10.8%	10.7%	—
貸会議室事業	25.9%	16.7%	13.7%	—

※ ホテル運営事業、佐渡事業等

本資料における将来予想に関する記述は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。実際の結果は、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予想と異なる可能性があり、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

またこれらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。